

No.	1230-160	事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業			所 属 部	教育部
			所 属 課	保健体育課			課 長 名
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり			所 属 G (係)	スポーツ振興G
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興			電 話 番 号	42-1111
	基本事業名	0 1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1 0	0 7	0 2	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
鹿児島県内の12地域より女子駅伝選手を選抜し、6区間21.095kmの区間で競走し、各選手のレベルアップを図ることを目的とする大会に対し補助金を交付し、大会を後援する事業。 ・参加チーム (鹿児島地区・揖宿地区・川辺地区・日置地区・川薩地区・出水地区・伊佐地区・始良地区・曾於地区・肝属地区・熊毛地区・大島地区)計12チーム ・参加選手 各地区より16名(選手は一般、大学生、高校生、中学生) ・コース 霧島市隼人運動場をスタート 鹿児島神宮前交差点 鹿児島神宮入口交差点 木之房交差点 ホテル京セラ前交差点 河川敷 野口橋交差点 下井 野口橋交差点 ホテル京セラ前交差点 鹿児島神宮入口 鹿児島神宮前交差点 霧島市隼人運動場						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 63 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)
 (1) 事務事業の目的と目標

手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		名称	
事業の概要と同じ		ア	交通指導員設置人数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	中継所数
前年と同じ		ウ	コース美化距離
			箇所
			km
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・地区対抗女子駅伝大会出場者 ・補助金交付先 > 地区対抗女子駅伝競走大会運営委員会 ・補助対象活動 > 運営に関する経費		ア	大会支援者数
		イ	駅伝大会出場者数
		ウ	
			人
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
駅伝中に選手が怪我や事故をしないコースづくり 選手が気持ちよく走れるコースづくり 市民が安全に応援できる環境づくり		ア	怪我や事故をした選手数
		イ	気持ちよく走れたコースの距離数
		ウ	安全に応援できた箇所数
			人
			km
			箇所
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツを通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ活動に取り組む仲間が増える。		ア	スポーツ、芸術文化団体・組織の数
		イ	団体・組織の会員数
		ウ	
			団体
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円			
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	3,000	2,700	2,700
	事業費計(A)	千円	3,000	2,700	2,700	2,864
活動指標		ア 人	25	45	45	50
		イ 箇所	6	6	6	6
		ウ km	5	5	5	6
対象指標		ア 人	180	400	400	400
		イ 人	192	192	192	192
		ウ				
成果指標		ア 人	0	0	0	0
		イ km	21	21	21	21
		ウ 箇所	25	65	70	75
上位成果指標		ア 団体	226	220	213	220
		イ 人	14,698	14,677	15,899	16,000
		ウ				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和63年に南日本放送の創立35周年を記念し、鹿児島県的女子駅伝の底辺拡大とレベルアップを図るとともに、鹿児島県の地域興しを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地域に根付いた駅伝大会として年々沿道応援者が増加している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
住民・関係者より、地元で開催されるため、選手強化を図り上位進出を目指してほしいとの声がある。	

事務事業名	県地区対抗女子駅伝競走大会支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ 周辺の他自治体が行なう駅伝大会などはあるが、女子のみの駅伝大会はほかにない。	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	女子にとって県内最大の大会であり選手の育成やレベルアップに寄与している。職員以外に体育指導委員やボランティアの協力を得ており今後もこれらの枠を広げつつ支えていきたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 職員以外にも体育指導委員やボランティアの協力を得て裏方として大会を支えている。今後も多くのボランティアの協力体制のもと実施していきたい。 ボランティア体制が整うことで、事業費は下げることが可能である。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

事務事業名	市各地区スポーツ祭開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	大会参加者はどこの地区も固定化しつつあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要であると思われる。参加者数としては、平成21年度からは国分地区・横川地区でも開催されることから増えることが期待できる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	スポーツ祭を通じて地域の親睦と融和を深められており、廃止されると親睦の機会が大きく減少するとともに、スポーツに親しむ機会が減少し、結果として地域が寂れていくと感じる市民が増えることが想定される。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	賞状やコピー代等の必要最小限の事業費で行っており、削減の余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の職員で対応しており、削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	大会への参加は、地区公民館を通じて広く呼びかけられており、参加機会は等しくあり公平である。公民館に加入していない方については、大会が地域対抗で行われることから基本的には参加できないが、公民館に加入すれば参加できるため不公平とはいえない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	大会参加者は固定化しつつある地区もあり、参加資格の年代層の幅及び競技種目の見直しが必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ・総支所管内においては、職員数が年々減少しており今後の運営に支障が出る恐れがあり、体育協会や地区公民館体育部長等の一層の協力をお願いする。 ・選手が固定化しつつある地区においては、競技種目の見直しを検討する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
特になし

No.	1230-190	事務事業名	青少年サマースポーツフェスタ開催事業	所属部	教育部
				所属課	保健体育課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	課長名	藤山 光隆
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興	所属G(係)	スポーツ振興G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり	電話番号	42-1111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	10	07	02	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
野外でスポーツをすることにより、自然を大切にすることを醸成し、困難に立ち向かうたくましい実践力を養うとともに、異年齢間の交流を深めることを目的とする事業 ・種目(カヌー)、(バレーボール2面)、(サッカー2面)、(ドッジボール2面)、フリースロー(2ヵ所)、キックターゲット(1ヵ所)、ストラックアウト(1ヵ所)、スイカ種飛ばし(1ヵ所)ニュースポーツ(ディスクゲッター9・シャッフルボール) 開催場所:天降川ふるさとの川河川公園 開催日時:8月の第1日曜日(雨天中止) 開催時間:9:00~13:00 参加料:500円(弁当代込み) 参加資格:原則として霧島市内の小学4年生以上から高校生 申込書:教育委員会保健体育課及び各出張所教育振興課に備え付けてある。 申込先:教育委員会保健体育課及び各出張所教育振興課へ参加料を添えて申し込む。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
・競技種目カヌー・バレーボール・サッカー・ドッジボール・フリースロー・キックターゲット・ストラックアウト・スイカ種飛ばし・ニュースポーツ体験 ・参加者270名(小学校4年生から高校生を対象)		ア 種目数	種目
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 関係者・ボランティア数	人
前年同様		ウ 参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島市内の小学校4年生以上から高校生		名称	
<補助金交付先>青少年サマースポーツフェスタ実行委員会 <補助対象活動>運営に関する経費		ア 霧島市内の小学4年から高校生の数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
野外スポーツを通じ異年齢間の交流を深める		名称	
ニュースポーツを経験できる		ア 異年齢間で交流した参加者の数	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ ニュースポーツの経験者数	人
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	470	423	423	423
		事業費計(A)	千円	470	423	423	423
活動指標	ア 種目		5	5	9	9	
	イ 人		50	63	69	70	
	ウ 人		100	245	270	300	
対象指標	ア 人		11,410	11,322	11,975	12,000	
	イ						
	ウ						
成果指標	ア 人		252	245	270	250	
	イ 人		100	200	112	210	
	ウ						
上位成果指標	ア 人		55,086	57,516	57,100	58,000	
	イ						
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年に旧隼人町で実施し、現在も継続している。きっかけは青少年の犯罪化やいじめが進んでいるため、この抑止策として夏休みの期間を利用し、スポーツを通じた異年齢交流を行い困難に立ち向かうたくましい実践力を養う子供の育成を目的として始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
カヌーについては、河川の整備に伴い利用しやすくなった。また、開催当初100名程度であった参加者も年々増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高校生が実行委員をつとめ、またポスター等も作成するなど、青少年を中心とした大会であり好評を得ている。来年も参加したいという声が多かった。	

事務事業名	青少年サマースポーツフェスタ開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 青少年を中心としたイベントとしては、ほかに類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	異年齢間の交流を図る目的で実施している。青少年中心のイベントであり各社より後援を頂いている。今後は参加者の増が課題と思われる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 内容については現状どおりでよいと思われるが、市内各地域への啓発と参加者の増加を図ることが大切である。小学4年から高校生までと年代の幅は広く、異年齢間での交流が期待できるイベントである。参加者を増やすため、そのやり方や受益者負担(参加料)を協議する必要がある。夏休みに実施するため、PR方法やその時期を考慮する必要がある。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
少年団活動や子供会活動等と競合しないよう各団体や学校に早めに呼びかけること。

No.	1230-200	事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業				所属部	教育部	
							所属課	保健体育課	
			政策名	0	4	育み磨きあうまちづくり		課長名	藤山 光隆
			施策名	0	3	スポーツ、芸術文化の振興		所属G(係)	スポーツ振興G
基本事業名	0	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり		電話番号	42-1111			

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1	0	7	0	2		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市民の健康増進とスポーツ交流人口の増大及び上野原縄文の森の幅広い周知拡大を図る。 ・場所 上野原縄文の森 縄文の森の周知に関しては、県が中心に大会参加者への体験学習等行なっている。また、舞鶴なべの無料提供などを別途実施している。 ・種目 ジョギングの部 3.0km (一般男子、一般女子、中学男子、中学女子、小学男子、小学女子) 駅伝の部 一般男子エリート 5区 16.2km、一般男子 7区 9.8km、一般女子・混成・中学男女 7区 9.8km、小学男女 9区 9.9km 参加料 ジョギングの部 一般(高校生以上)2,000円/人・中学生以下1,000円/人 駅伝の部 一般(中学生以上)6,000円/チーム・小学生 4,000円/チーム 主催は、縄文の森駅伝大会実行委員会で市は補助金を交付している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 3年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)									
(1) 事務事業の目的と指標									
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
20年度実績(20年度に行った主な活動)	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:駅伝・ジョギング参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ:ジョギングコース(部門)の数</td><td>コース・部門</td></tr> <tr><td>ウ:駅伝コース(部門)の数</td><td>コース・部門</td></tr> </table>	名称	単位	ア:駅伝・ジョギング参加者数	人	イ:ジョギングコース(部門)の数	コース・部門	ウ:駅伝コース(部門)の数	コース・部門
名称	単位								
ア:駅伝・ジョギング参加者数	人								
イ:ジョギングコース(部門)の数	コース・部門								
ウ:駅伝コース(部門)の数	コース・部門								
事業の概要と同じ									
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	⇒								
前年と同様									
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⇒								
縄文の森駅伝大会参加者 <補助金交付先> 縄文の森駅伝大会実行委員会 <補助対象活動> 大会の運営に関する経費	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:縄文の森駅伝大会参加者数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア:縄文の森駅伝大会参加者数	人				
名称	単位								
ア:縄文の森駅伝大会参加者数	人								
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⇒								
ジョギングや駅伝を楽しんでもらう。 上野原縄文の森を知ってもらう	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	人	イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)	人	ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える	
名称	単位								
ア:ジョギング・駅伝を楽しんだ参加者数	人								
イ:イベント参加者数(舞鶴なべ等)	人								
ウ: *ジョギングやイベントに参加したら縄文の森を知ることができたと思える									
結果(どんな結果に結び付けるのか)	⇒								
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる	<table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数</td><td>人</td></tr> </table>	名称	単位	ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人				
名称	単位								
ア:きっかけづくりの活動(スポーツ、芸術、文化教室等)に参加者のべ人数	人								

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	2,452	2,207	2,207
	事業費計(A)	千円	2,452	2,207	2,207	2,207
活動指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ	コース・部門	1(6)	1(6)	1(6)	1(6)
	ウ	コース・部門	1(8)	1(8)	1(8)	1(8)
対象指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ					
	ウ					
成果指標	ア	人	1,876	2,031	2,130	2,150
	イ	人	5,500	5,500	6,000	6,000
	ウ					
上位成果指標	ア	人	55,086	57,516	57,100	58,000
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成4年3月にハイテク展望台の完成を記念し、多くの市民の方々に楽しんでもらうことを目的にテクノパークで「ハイテク展望台完成記念完走歩大会」として第1回目を開催。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成7年の第4回大会より協賛金をつのり規模拡大している。平成10年3月に上之原テクノマラソンに名称変更。平成15年第12回大会より上野原縄文の森がオープンしたことにより国分縄文の森駅伝へ名称変更。また、20年度より大会名称から国分を省き、縄文の森駅伝大会へと変更。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
<参加者> ジョギングへの意見(コースを延長してほしい。)駅伝への意見(区間のタイムを計測してほしい)	
<関係者> 駅伝終了後、抽選会の参加者を増やす方法の検討が必要。縄文の森という場所を考慮し様々なイベントが自然・環境面を考慮するよう工夫が必要。	

事務事業名	縄文の森駅伝大会開催事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 参加者が健康づくりやスポーツを楽しむためのきっかけとなる大会であり、政策体系に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市民の健康づくりの場として大会を行なうことは、健康を維持するよいきっかけであり、また、縄文の森で開催することで広くPRすることができるため、市が行なうことが妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 現在の大会参加者には、霧島市民のみならず駅伝・ジョギングを楽しみたい市外の方も含まれている。年々参加者も増えているイベントであるので、ジョギングや駅伝を楽しんでもらう、上野原縄文の森を知ってもらうという現状の意図を継続することが望ましい。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 参加者がけがや事故もなく楽しんでもらう大会にするため、参加者のアンケート内容や声を十分に検討し、より良い大会運営に心がけなければならない。そのためには、現状で満足するのではなく、向上心をもって運営していかなければならない。更に、できるだけ広く周知することで参加者を増やすことが可能である。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 旧国分市時代から数え今年で18回目を迎え、駅伝大会としての知名度も上がり、毎年市外・県外からの参加者が増えている。駅伝への参加のみならず、縄文の森や霧島市の観光を楽しんでもらうよい機会でもあるため廃止すべきではない。駅伝やジョギングを楽しむ機会が少なくなる。中学生に関しては、市内で参加できる駅伝大会がなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 旧町(横川地区、満辺地区)単位で行なっている駅伝大会、また周辺の他自治体が行なう駅伝大会などがあるが、霧島市民が参加できないものが多い。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 霧島市内で開催されるウォーキングやマラソン大会と統廃合することは可能だが、それぞれ開催する場所での意味合いが異なるため、早急に統廃合は困難と思われる。開催場所・時期を十分検討することで将来的には統廃合は可能と思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は全てが補助金額となる。大会の運営費は市の補助金のほかに、市内の多くの企業や事業所から協賛を頂き運営している。市が補助金を下げることで参加者の負担や協賛者側の負担が増えることが予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 合併後、運営に携わる担当職員が減っている現状にあり、やり方を十分検討しなければ業務時間の削減は困難な状況である。これまでも、中・高校生・体育指導委員など職員以外の多くの方々との協力を得て開催してきた大会である。市職員は、前日、当日の受付、運営だけでなく大会の企画、PR、協賛金の募集活動などの事務全般を担っている。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 受益者は大会への参加者であり、誰でも参加できるため、機会の公平性は確保されている。受益者負担額(参加料)に関しては、実行委員会が決定しているが、参加者1人あたり経費と比較すると特に駅伝に関しては、水準が低めとなっているため見直し余地はある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民の健康づくりとしてできた大会であり、駅伝大会として知名度もあり、安全面からも参加者が増えている。市の参加のあり方や受益者負担の見直しが必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 参加者も少しづつではあるが増えている。今後も色々な関係者の協力をえながら進めていきたい。 受益者負担(参加料)の協議 市外も含むPR活動の強化																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 寄付金集めで職員はもとより、国分地区体育指導委員の協力を頂いている。今後は全市の協力体制が必要になる。

事務事業名	きりしま写真展開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで4回の写真展を開催したが、撮影ポイントが限られてきており、出品者等が特定された感がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
事業の全体的な見直しにより、ほかの事業との統廃合や経費の削減に努める。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
写真愛好家の間で、発表の機会や撮影技術の停滞が考えられる。

No.	1250-020	事務事業名	霧島美術展開催事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	01	スポーツ・芸術活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費	霧島美術展開催要項	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
県内在住者及び環霧島会議宮崎県側市町の高校生以上から美術作品(絵画)を公募し優秀作品を展示表彰する。実行委員会において、開催要綱決定 県内の画材店等での公募のためのポスター・チラシ作成 広報 搬入(受付作業) 審査 入賞作品展示 表彰式 搬出 実行委員会(精算事務)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 第5回美術展の開催のための諸業務活動 シビックセンター市民ギャラリーでの展示及び表彰式		ア	出品点数
			点
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 第6回美術展の開催(9/16~9/25までの10日間)。テーマ部門で霧島の風景(ジオパーク認定を目指す環霧島地域をテーマとしたものを含む)を追加。		イ	出品者数
			人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民・美術愛好家		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	霧島市内美術愛好家
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民の美術に対する関心を高める		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	美術展入場者数
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	きっかけ作りの活動(芸術文化教室等)に参加したのべ人数
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	320	618	605	580	
		一般財源	千円	1,500	1,191	1,238	1,275	
	事業費計(A)	千円	1,820	1,809	1,843	1,855		
活動指標		ア	点	322	312	311	320	
		イ	人	181	179	183	190	
対象指標		ア	人	1,300	1,300	1,400	1,500	
成果指標		ア	人	1,300	780	748	900	
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成16年に旧国分市制50周年を記念して、市の美術協会を中心として開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併に伴い、旧霧島町で開催されていた8号洋画展も合体して開催するようになり、出品者数も増加している。また、回を重ねる毎に作品のレベルが向上している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市美術協会及び行政を主体として実行委員会を設置し、美術展の運営を行っているが、行政のみで運営してほしいという意見が強い。	

事務事業名	霧島美術展	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	美術に触れる機会の提供は美術に関する知識と教養の向上につながる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	鑑賞、発表する機会の提供は、文化振興の向上につながり妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	美術に対する関心も高まっており、妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果は十分出ている。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	美術に対する感動・関心の向上により地域活性化に与える影響は大きい。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷	類似事務事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	19年度に会費を値上げしており、今後の会費の増額は見込めないが、ポスター・パンフレット等の作成について、用紙・内容の変更や配布先・配付方法の見直しをしたり、賞品数の減により事業費の削減は可能である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	共催である霧島市美術協会の高齢化で会場準備・展示作業をシルバーに依頼しているが、今後ますますシルバーに依頼する作業内容が増えるため、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市民を対象に開催されており、適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	展示会場のスペース、審査から展示までの日程、職員の事務量は、これ以上望めないが、事業費の観点から見直す必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> ポスター・パンフレット作成にかかる仕様の見直し。 賞品数を減らすことにより、事務量・費用の減につながる。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 実行委員会への美術協会の関わり合いの度合いと、実行委員の選定について検討する必要がある。
--

事務事業名	こども絵画展開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	応募校・園が、毎年同じである。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	他のコンクール・絵画展で、補充できる。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象・意図は妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	多数の民間等のコンクール・絵画展が多すぎて、児童の高学年と生徒の作品数が極端に少ない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	創作意欲は他の絵画展・コンクールに向けられ、創作活動の割合が減る。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	募集・取りまとめ等を学校ごとで行い、審査も先生達に依頼している。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	他のコンクールや絵画展の開催情報を収集し、各園・小・中へ広報周知し他のコンクールや絵画展への参加を促す。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市内の園児・児童・生徒を対象に開催されている。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	園児はテーマにそわない作品も多い、多数のコンクール等との競合も激しいため、児童の高学年と生徒の作品数が極端に少ない。時期をずらして開催しても、学校行事等と重なり、応募数の増加は見込めない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 他の絵画展・コンクールと合同開催するか、他の絵画展・コンクールを積極的に推進する。 園・学校で第1次審査後提出してもらう。																					
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の園児・児童・生徒が自由に応募できるよう、絵画展やコンクールの情報をその都度周知し創作意欲のきっかけや選択の幅を広げてあげる。

No.	1250-040	事務事業名	みぞベスケッチ大会開催事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	教育振興課
	施策名	03	スポーツ、芸術、文化の振興	課長名	福永 久治
	基本事業名	01	スポーツ、芸術活動のきっかけづくり	所属G(係)	教育グループ
				電話番号	58-3191

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
幼児から一般社会人を対象に、上床公園内の建物や風景をスケッチし、絵の具、クレヨン等で絵を1点仕上げる。審査は溝辺地区内各小中学校図工美術担当教諭及び、文化協会溝辺支部理事等があたり、学年(高校・一般)ごとに、秀作、特選、入選、佳作を決定し、賞状を授与する。さらに、秀作の中から大賞を1点選び、文化誌「文化みぞべ」の表紙絵に採用する。入賞作品については、溝辺ふるさと祭りの作品展示部門に展示し、その後、溝辺公民館歴史民俗資料室、福祉センターに一定期間展示し、多くの方に鑑賞してもらう機会を作る。展示終了後、作品は各人へ返却する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 1年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成20年度は、9月7日に実施 幼4名、小39名、中3名、一般12名 合計 58名		ア	事業参加者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
9月6日(日)、霧島市上床公園内で、スケッチ大会を実施する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア	市民
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
溝辺の自然に触れながら美しく豊かな心情を培う。		名称	
		単位	
		ア	スケッチ展を鑑賞した人数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		名称	
		単位	
		ア	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加の延べ人数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	35	34	33	31	
	事業費計(A)	千円	35	34	33	31		
活動指標	ア	人	64	61	58	100		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	2,000	2,000	2,000	2,000		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成1年より、美術に対する関心を持ってもらおうと始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
その年によって参加者の増減があるものの、少しずつではあるが参加者が増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業の継続	

事務事業名	みぞバスケット大会開催事業	所属部	教育部	所属課	教育振興課																					
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	芸術(美術)に触れ合う機会を提供している																								
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】																								
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	霧島市教育委員会溝辺出張所と文化協会溝辺支部が主催となり実施している。実行委員会形式をとり、補助金で実施する方法ではできないのか。																									
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である【理由】																									
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	参加者のほとんどが溝辺地区からであるので、市報・新聞、ちゃちゃネット等を利用し全市内外に広報を広げている。平成20年度は、幼4名、小39名、中3名、一般12名、合計58名																									
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																								
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	参加者増と他地区からの参加者を増やす必要がある。優秀作品の市報への掲載や溝辺地区以外での展示会の開催。審査員の人選を霧島市まで広げることで充実した指導ができる。																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																								
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	他の旧市町でこの事業を実施しているところはないので、芸術(美術)に触れ合う機会がなくなる																									
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																									
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																									
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会形式をとり、補助金交付で運営する。指導審査員に係る費用の削減																								
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																									
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。																									
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																								
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加料の徴収																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	自然に親しむ機会を提供するとともに、芸術(美術)に対する意識の向上を図るため開催。																								
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 改革改善案 実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。 参加人員の増 参加対象地区の拡大 作品展示のあり方 参加料の徴収のあり方 審査員の人選		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下					
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 文化協会溝辺支部の自主運営能力の向上(この部分を解決しないと実行委員会への改善は図れません) 指導審査員に係る費用の削減(各支部との連携)																										

事務事業名	自主文化事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は、日常生活にゆとりと潤いを与え、文化の香り高いまちづくりに繋がりが妥当である。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	市民が心豊かで質の高い生活と創造性に富んだ活力ある地域社会を築くために、市が優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供は妥当である	
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	より多くの市民が優れた舞台芸術を自発的に鑑賞する機運を高めてもらう。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	自主文化事業の内容を市民により詳しく周知すると同時に、市民ニーズを的確に捉えた事業の選定を行い事業を実施することで、より多くの市民が鑑賞することにつながる。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	文化芸術に関心の高い市民からは、鑑賞機会の提供が望まれると同時に、文化の香り高い街づくりの整合性が問われる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	企業との連携により、事業PRのためのポスター・チラシに広告を掲載し、経費の削減に努める。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	公演当日の運営スタッフを市民ボランティアにお願いする。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	採算を優先させると内容が偏るため、各種ジャンルの催し物を計画的に実施し、鑑賞者の対象年齢や市民の鑑賞ニーズを的確に捉え幅広く市民に鑑賞機会を与える。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまで開催した自主事業においては、集客に苦慮している。事業の選定段階で、より集客を重視した種目を選定する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改 2117 2150 (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 自主文化事業を実施し、市民に優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供することは大事である。市民ニーズにあったジャンルと出演者の選定を行う必要があり、アンケート調査結果を参考に、公演種目を検討する。																		
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 有名なおかつ話題性のあるアーティストを招聘したいが、そういうアーティストは金額的に高額である。限られた予算の中で催しを開催しなければならない。また、市民会館の客席数が1,050席あり、常に850席程度の入場者を確保することは非常に難しい。今後は、公演種目の選定段階で、より集客性の高いものを選定する必要があるが、より多くの市民の嗜好に応えるためには、集客の少ないジャンルも採算を考慮し、会場を変更して開催していく。

No.	1250-051	事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	4	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	3	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	1	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1	0	6	6	157010	自主文化振興事業	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島国際音楽祭開催時期に合わせて、国際音楽祭参加アーティストと市民の参加する市民音楽祭を開催する。それぞれの演奏や共演、実施前にクリニックを行うなどの交流を図る。また、実行委員会方式をとり、市民の意見を取り入れた、より市民に身近な音楽祭とする。 ・実行委員会の設置、開催 ・出演団体を含めたプログラム内容の決定 ・ポスター・チラシ作成など広報活動 ・音楽祭実施(市民団体演奏、ゲスト演奏、市民団体とゲストの共演、合同演奏) ・各事務精算		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	霧島市民音楽の集い	ア 音楽祭出演団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	霧島市民音楽祭	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民に音楽鑑賞の機会を提供し鑑賞者数を増やす。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	名称	単位
		ア 市民	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 市民音楽祭鑑賞者数	人
		イ 霧島国際音楽祭鑑賞者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加した延べ人数	人
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			1,500	1,620	
	事業費計(A)	千円	0	0	1,500	1,620		
活動指標	ア	団体			9	6		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人			127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人			700	770		
	イ	人			10,181	11,000		
	ウ							
上位成果指標	ア	人			20,633	23,470		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
霧島国際音楽祭が霧島市で開催され、平成21年度で30回を迎えるにあたり、この音楽祭の市民への周知と盛り上がりを図るため、霧島国際音楽祭参加アーティスト等と市民参加の音楽祭として開催した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
霧島市民音楽祭を開催することにより、霧島国際音楽祭への関心が高まるとともに、市民の音楽文化の向上が図られている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
小・中学校並びに一般の音楽団体が一堂に会しての演奏会は、市民の音楽レベルの向上と、音楽文化の発展に大きく寄与している。	

事務事業名	霧島市民音楽祭開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業なし <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民音楽祭を霧島国際音楽祭参加アーティストと市民参加の音楽祭として、今後も継続して取り組み、より市民に身近な音楽祭に育成する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 実行委員会の充実を図り、市民音楽祭の企画立案への参画の推進を図る。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 より多くの市民が優れた舞台芸術に触れることにより、霧島国際音楽祭を身近に感じ、市民が参加する音楽祭として、広く親しまれるために、市民に広く周知することが必要である。

No.	1250-060	事務事業名	新春書初め大会運営事業	所属部	教育部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	教育振興課
	施策名	03	スポーツ、芸術、文化の振興	課長名	福永 久治
	基本事業名	01	スポーツ、芸術活動のきっかけづくり	所属G(係)	教育グループ
				電話番号	58-3191

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	1	0	0	6	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
小学生から一般社会人を対象に、それぞれ課題(審査委員及び文化協会で決定)をもとに清書を1点仕上げる。書体については、小学生は楷書、中学生は楷書又は行書、高校・一般は楷書、行書、草書からそれぞれ選択する。審査は溝辺地区内各小中学校国語担当教諭及び、文化協会溝辺支部書道関係代表者等があたり、学年(高校・一般)ごとに、金賞、銀賞、銅賞、佳作を決定し、賞状を授与する。入賞作品については、溝辺公民館及び溝辺総合支所において、一定期間展示し多くの方に鑑賞してもらう機会を作る。展示終了後、作品は各人へ返却する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 55年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成21年1月11日(日)、霧島市溝辺公民館研修室で、書初め大会を実施した。参加者数は小24名、中3名、一般9名 計36名		ア	事業参加者数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
平成22年1月10日(日)、霧島市溝辺公民館研修室で、新春書初め大会を実施する。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア	市民
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
日本に古来から伝わる書道に触れ、書写能力の向上を図る。		名称	
		単位	
		ア	書席展を鑑賞した人数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動に取り組むきっかけが得られる		名称	
		単位	
		ア	きっかけづくりの活動(芸術文化教室等)に参加の延べ人数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	20	25	25	20		
		事業費計(A)	千円	20	25	25	20		
活動指標		ア	人	27	28	36	50		
		イ							
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	人	500	500	500	500		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	人	21,441	22,530	20,633	23,470		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和55年より、青少年育成の一つとして開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
参加者数が年々減少傾向にあったが、本年度は若干増えた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
事業の継続	

事務事業名	新春書初め大会運営事業	所属部	教育部	所属課	教育振興課																										
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	芸術(書道)に触れ合う機会を提供している																													
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	霧島市教育委員会溝辺出張所と文化協会溝辺支部が主催となり実施している。実行委員会形式をとり、補助金で実施する方法ではできないのか。																														
対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	参加者が溝辺地区からである。市報・新聞・チャチャネット等を利用し全市内外に広報を広げる必要がある。平成20年度は、小24名、中3名、一般9名 計36名																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	実施内容(イベント)の工夫を図り、参加者(他地区からも)増を図る。審査員の人選を霧島市まで広げることで充実した指導ができる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	他の旧市町でこの事業を実施しているところはないので、芸術(書道)に触れ合う機会がなくなる																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付で運営する。指導審査員に係る費用の削減																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	文化協会が主体となり、少ない予算の中で、芸術に触れる機会を創設している。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	青少年の健全育成と、日本古来の書道に親しむ機会を提供するため実施している。																													
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 実行委員会形式(文化協会溝辺支部中心)をとり、補助金交付での運営。 参加人員の拡大、参加対象地区の拡大 実施内容の工夫				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 文化協会溝辺支部の自主運営能力の向上(この部分を解決しないと実行委員会への改善は図れません) 指導審査員に係る費用の削減(各支部との連携)																															

No.	1250-070	事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	01	スポーツ、芸術文化活動のきっかけづくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 特になし	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
青少年に対して優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、芸術に対する興味、関心を喚起するとともに、豊かな情操の かん養に資する。霧島市内の中学生を対象に霧島市民会館、溝辺公民館等のホールに集め、芸術鑑賞会を実施す る。 県への開催希望申請 内定 学校との調整 実施							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~)	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 霧島市民会館において、「青少年のための芸術鑑賞事業」2回公演実施。 対 象：19年度実施校を除く霧島市内の中学三年生 国分南中学校において、「生徒芸術鑑賞会」実施。対象：全校生徒		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 霧島市民会館において、「生徒芸術鑑賞事業」2回公演実施予定。 対 象：19年度実施校を除く霧島市内の中学三年生		回	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 霧島市内中学生		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 生の舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高 め、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされる。		人	
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツや芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称	
		人	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称	
		人	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	293				
		一般財源	千円	358	329	715	904	
事業費計(A)		千円	651	329	715	904		
活動指標		回	1	1	2	2		
対象指標		人	860	4,098	4,098	3,975		
成果指標		人	307	635	1,181	970		
上位成果指標		人	21,441	22,530	20,633	23,470		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成8年度から、溝辺地区内中学生の芸術鑑賞事業として開始された。その後、小学生の参加する事業となった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
合併により溝辺地区内から、近隣の横川、牧園へも地域を広げた。それに伴い、平成19年度より中学生のみを対象とする事業となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	
青少年に優れた舞台芸術を鑑賞させることは非常に素晴らしいことである。(学校関係者)	

事務事業名	生徒芸術鑑賞会事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業として小学生対象の青少年劇場を実施しているが、事業の実施対象が異なる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	多感な生徒に、生の舞台芸術の鑑賞機会を提供することは意義がある。対象校が日程調整に苦慮するが、今後も継続して実施したい。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 現状のやり方で進めたい。県の「青少年のための芸術鑑賞事業」の採択枠が市町あたり1箇所しか採択されないため、一般財源での追加しての事業開催が必要であるが、現状の開催方法を踏襲したい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 一堂に会しての開催は、学校間の日程調整が難航する。学校の年間行事計画協議段階において、開催日を明確に位置づける。																						

事務事業名	青少年劇場開催事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 生の優れた舞台芸術を鑑賞する喜びを感じ、創造的な精神の醸成などその情操の形成がなされ、自発的に優れた芸術に触れる機運を高めることで、芸術文化活動に取り組むきっかけが得られる。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 社会教育、学校教育の観点から必要な事業であるとともに、芸術文化の振興、地域や学校における芸術文化意識の向上につながる。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 霧島市内の全小学生が公平に鑑賞機会を持つ。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 全小学生を対象にしていることから、鑑賞児童数は一定である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 小学生の鑑賞機会が減少し、芸術文化活動に新たに取り組むきっかけが減少する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 旧市町で地区分けをし、児童規模の多い学校を会場とし、そこへ近隣の規模の比較的小さな学校の児童を集めて公演を実施しており、公演数の削減、バス借上げ料の削減を図っている。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 開催時は学校側で対応することから、職員は開催申請や県や公演団体と各学校の日程調整をする必要最小限の事務量である。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 青少年健全育成の面からも霧島市内小学生への鑑賞機会提供は公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内の小学校34校を対象にして、3年に1回の割合で鑑賞機会を提供し、子どもたちに夢と感動を与えている。 今後も、ローテーションを維持し、児童が均等に鑑賞できるよう事業を計画したい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 地区別に、生徒数の多い学校を開催校とし、周辺の学校と合同で開催している。今後、少子化による児童数の減少や新設校による児童数の変更等が予想されるため、旧市町の地区割りによる開催の変更や文化施設等での開催等、公演実施校のローテーションを再検討をする。																										
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
生徒の送迎のためのバス借上げ料が必要になる。

事務事業名	霧島国際音楽祭運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	開始以来28回を数え、国内有数の音楽祭にも関わらず、一部の音楽愛好者の音楽祭というイメージが強い。市民層に親しまれ受け入れられる音楽祭にする必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 演奏家のプログラム内容を市民が知っているポピュラーな曲目を演奏し、市民に親しまれる演奏会とする。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
一流の音楽家のプライドがあり、どうしてもむずかしい曲目編成となってしまうので、演奏家に理解をしてもらう。

No.	210-210	事務事業名	財団法人霧島市しみん学習支援公社支援事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	03	スポーツ、芸術・文化の振興				所属G(係)	企画政策グループ
	基本事業名	02	生涯スポーツ・芸術文化に親しむための環境づくり				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	09	18080	しみん学習支援公社経費	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
芸術・文化、スポーツ活動等の振興による生涯学習の推進を目的として市の100%出資により設立された「財団法人霧島市しみん学習支援公社」に対し補助金を交付し、公社の運営を支援する。 補助対象経費は、公社が市の各所管課から委託料の支払いを受けて実施するソフト事業及び施設管理事業に要する経費以外の事務局運営経費。 (市の活動) 霧島市しみん学習支援公社に補助金を支出するための手続き(申請受付、交付決定、実績報告、補助金交付等)を行う。 (公社の活動) 公民館講座の開催などの生涯学習事業及び市民会館、国分キャンプ海水浴場などの施設管理受						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
13,402千円の補助金を交付。		ア	補助金交付額
			円
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様(予算額 15,731千円)		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
<補助金交付先>財団法人霧島市しみん学習支援公社		ア	人口
<補助対象活動> 公社の事務局運営経費		イ	補助対象団体数
		ウ	管理費支出額
			千円
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市しみん学習支援公社の円滑な運営ができる。		名称	
		ア	公社が実施した事業数
		イ	
		ウ	
			単位
			事業
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術活動を行う環境が整う。		名称	
		ア	スポーツを行なう環境が整っていると考える市民の割合
		イ	芸術文化活動を行なう環境が整っていると考える市民の割合
		ウ	
			単位
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	13,410	11,287	13,402	15,731		
	事業費計(A)	千円	13,410	11,287	13,402	15,731			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	13,410	11,287	13,402	15,731			
活動指標		ア 円	13,410	11,287	13,402	15,731			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
		イ 団体	1	1	1	1			
		ウ 千円	13,410	11,287	13,402	15,731			
成果指標		ア 事業	44	37	40	40			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	42.4	42.0	42.0	42.0			
		イ %	20.5	20.0	20.0	20.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
本補助事業は、平成8年度に旧国分市で公社が設立された際、市の各所管課からの委託料に含まれない事務局運営経費の財源確保のために創設された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
公社設立当初は、市の施設の管理を受託できるのは公社のような外郭団体・公共的団体等に限定されていたが、地方自治法の改正(H15年9月施行)により指定管理者制度に移行し、民間事業者等も受託することが可能となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	財団法人霧島市しみん学習支援公社支援事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	----------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 公民館講座の開設や各種施設の管理など公社が行う事業により、スポーツや芸術活動を行う環境の整備が図られている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市が100パーセント出資している財団法人であり、現時点では市からの補助金以外に事務局運営経費を賄うだけの収入は見込めない。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 委託を受けて実施している事業に要する経費以外の事務局運営経費のみへの補助となっており適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 自主事業の充実など積極的な取り組みにより成果の向上余地が見込める。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 使用料収入が見込めない施設等については、民間の指定管理者の参入がない可能性があり、事業の廃止等により公社が存続できない場合は、公共施設の管理運営に支障が出るおそれがある。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) より一層の効率化、経費節減に努め、少ない予算で事業の活動量の拡大、質の向上に努める必要がある。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金等交付規則に則った最小限の事務のみを行っており、削減余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 公社は、市と一体となって芸術・文化、スポーツ活動等の振興を図ることを目的として、市により設立された財団法人であり、公平性に問題はない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本来の学習支援事業の取り組みが少ない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 現在の事業(管理)内容を再度検証し、「ムダ、ムリ、ムラ」を省いていく。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
市の100パーセント出資の公社ではあるが、他の指定管理者と同様に危機意識を持ち、効率化に努める必要がある。

事務事業名	学校体育施設開放事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	見直し余地がある【理由】 ↷	結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	見直し余地がある【理由】 ↷	適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	向上余地がある【理由】 ↷	向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	影響無【理由】 ↷	影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	統廃合できる ↷ 連携できる ↷ 統廃合できない ↷ 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	
効率性 評価	事業費の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	削減余地がある【理由】 ↷	削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	見直し余地がある【理由】 ↷	公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性	適切 見直し余地あり	身近なスポーツ活動の場の提供として開放しているが施設の利用頻度は高く、今後も継続していく必要がある。																						
有効性	適切 見直し余地あり																							
効率性	適切 見直し余地あり																							
公平性	適切 見直し余地あり																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
廃止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 活動団体は活動拠点(地元)の近くの施設利用を希望しているので、今後も調整して開放施設側の理解を得ていく。		<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>↘</td> <td></td> <td>↘</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			↗	低下	↘		↘
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持			↗																				
	低下	↘		↘																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

事務事業名	総合型地域スポーツクラブ支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	スポーツクラブへの支援は、地域で日常的なスポーツを気軽に楽しむための環境づくりを支援するものである。スポーツクラブが地域に溶け込むことによりスポーツを楽しめる環境が整うため政策体系に結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	企業・行政が仕掛けるスポーツ活動から地域に密着した住民主体のスポーツ理解へと転換する施策が国から示され、これを行政が支援することは妥当である。総合型地域スポーツクラブの設立当初は、会員も少なく安定的な収入確保ができないため運営面での支援が必要である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	市内に2つのスポーツクラブがあり、現在その2団体の会員を対象としているため対象・意図は適切と思われる。今後、他の地域においてスポーツクラブが発足した場合、対象拡充すべきと考える。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	クラブが安定した財政基盤を維持し続けるためには、会費の継続収入が最も重要である。クラブを維持し続けていくためには広報活動を継続し新規会員獲得及び継続会員の確保に努力しなければならない、努力し続けることで成果の現状水準は向上するものと思われる。
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	補助金を廃止することで運営費が削減されるため、安定した会員数が確保できなければクラブの存続そのものに影響があるものと思われる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内2つのスポーツクラブは、それぞれの地域で日常的にスポーツを楽しむ場として環境を整えているが、NPO法人で市の指定管理者である錦江スポーツクラブとそうではない舞鶴スポーツクラブでは運営規模や活動内容が異なるため、統合することは困難である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	補助金の使途は主に運営経費であるが、現時点の会費収入は不安定であり補助金の大幅な削減により運営は圧迫すると思われる。しかしながら、毎年会員数は増加しているおり、安定的な会費収入が確保されることで補助金の削減は可能である。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	現在、2つのスポーツクラブに対しそれぞれの地区の職員が携わっているが、窓口を一つにすることで業務時間の短縮は可能である。また、クラブ自身が安定財政基盤を整え自主運営が可能となれば、これまで市職員が行ってきた補助金等に関する事務が不要となり人件費は大幅に削減される。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	補助金はクラブを育成するための補助金であり、その補助金及び会費によりクラブは様々なスポーツ環境を整えている。クラブは市内に2地区しかないが、受益者は会費を払うことでスポーツを楽しむ機会を得ているため公平性は確保されていると思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域でスポーツを楽しむためにスポーツクラブができたが、会員数の確保が困難である。今後、行政がどこまで支援できるか考えなければならない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
会員獲得がクラブ存続の重要課題であり、獲得策を十分考慮しなければならない。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 相互に協議しながら、将来1本化も含め進めることが必要と思われる。

No.	1250-130	事務事業名	霧島市民会館管理運営事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	02	生涯スポーツ、芸術文化に親しむための環境づくり				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	
	一般	10	06	06	157080	しみん学習支援公社経費		
							霧島市民会館等の管理運営に関する基本協定書 霧島市民会館等の管理運営に関する年度協定書	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市の文化施設である市民会館の管理をしみん学習支援公社への直接指定により管理を委託している。経年劣化等により施設・設備に不具合や故障等が発生し、万全の状況で市民に利用してもらうため適宜修繕等を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 11 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 市民会館の管理委託・市民会館吸収式冷温水機部品取替等 市民会館音響調整卓等備品購入		ア	市民会館利用者数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 市民会館の管理委託・市民会館吊物ワイヤー取替え工事		イ	市民会館の会館日数
			日
		ウ	修繕件数
			件
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民会館音響照明機材数 市民会館延べ床面積		名称	
		ア	市民会館の音響照明等器材数
			個
		イ	市民会館延べ床面積
			m ²
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市民会館の施設・設備を最良の状態に保つ。		名称	
		ア	故障の発生件数
			件
		イ	市民からの苦情件数
			件
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツや芸術文化活動を行う環境が整う。		名称	
		ア	芸術文化活動を行う環境整備が整っていると考える市民の割合
			%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	51,423	43,647	46,397	42,615	
	事業費計(A)	千円	51,423	43,647	46,397	42,615		
活動指標	ア	人	76,593	76,700	76,700	76,700		
	イ	日	347	350	347	347		
	ウ	件	7	7	2	3		
対象指標	ア	個	1,042	1,042	1,042	1,042		
	イ	m ²	4472.55	4472.55	4472.55	4472.55		
	ウ							
成果指標	ア	件	7	10	10	8		
	イ	件	2	1	1	4		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	21	21	24	22		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市民会館の開館に伴い、維持管理を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成11年10月の全面改修後、8年が経過し、施設及び設備の経年劣化が進んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 施設管理委託業者からは、音響設備の経年劣化に伴い音に歪が生じるなど早急に改善を望む声が多く寄せられている。	

事務事業名	霧島市民会館管理運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	--------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市民が芸術文化活動に取り組む中で、成果を発表する場が必要である。施設を整備し、充実した機材などを活用することで、利用者のニーズに答え文化活動を活発にすることにつながり妥当である。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市が設置している施設である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民会館の利用者(市民)の利便性を対象にしており妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 計画的な施設整備並びに器材のメンテナンス整備が必要である。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 文化施設が限られている中で、中心的な役割を持つ市民会館の整備は必要である。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 市民会館は独立した施設であり、事業の統廃合はできない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 施設器材整備については、取り扱いを注意していても経年劣化に伴う故障が発生する。適切な維持管理と併せ年次的に計画的に整備することが必要である。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 最少の人員での運営をお願いしている。(指定管理直接指定)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 文化活動の拠点施設として、広く市民に活用してもらおう施設である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	経年劣化に伴うメンテナンスが必要である。安全管理上、計画的な整備が必要であるが、予算の先送りにより整備計画に支障が出ている。																											
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
<改革改善案> 施設の管理においては、指定管理者と連携を図り、経費節減に努めながら管理運営を行う。																													

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 年次的な整備計画に基づく予算配分が必要である。

事務事業名	体育指導委員活動事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 生涯スポーツの観点から、基本事業のスポーツに関する機会を提供するために委員が活動することは必要であるため結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市民に対しスポーツに関する機会を提供するために委員会を機能させることは行政の役割であり妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 体育指導委員の役割は、住民の求めに応じ実技の指導やスポーツ活動の促進のため組織の育成を図ることを目的としており妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 研修会や指導者育成の場へ積極的に参加することで、様々なスポーツのニーズに応えられる資質が向上すると思われる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 本市の市民スポーツの普及推進を担う責務を負っているため休止はできない。またスポーツ振興法に基づく委員であり廃止はできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 体育指導委員の設置は、住民の求めに応じ実技の指導やスポーツ活動の促進のため組織の育成を図ることを目的としており、類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 費用は主に報酬と費用弁償である。予算枠を超える指導等については、ボランティアで行っている現状であり、成果を上げれば上げるほどボランティアでの出会が多くなるため、これ以上の削減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 予算枠を超える指導等については、ボランティアで行っている現状であり、成果を上げれば上げるほどボランティアでの出会が多くなるため、これ以上の削減はできない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 体育指導委員が受益者であるため公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	体育指導委員は、本市スポーツの普及推進を担い、生涯スポーツの観点からも必要な存在である。市民の様々なニーズに応えられるよう資質向上が望まれる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 平成20年度に霧島市全体で一つの体育指導委員協議会として構成された。今後は、旧地区を越えた指導やイベント協力など広範囲での活動を期待している。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 これまでの体育指導委員の活動を更に強化し、生涯スポーツの牽引者として努力していただきたい。また、旧地域を越えた活動を実施していきたい。

事務事業名	体育協会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民を対象とする団体で体力・健康増進のうえからもなくてはならないが、統一がなされていない団体があるので早急に統一をお願いしたい。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 合併にともない旧1市6町それぞれの体育協会をその種目ごとに統一し、市民が公平なサービスを受けられるよう進めていきたい。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 地域間のエゴをなくし、霧島市として一本化することが大切である。

No.	1230-390	事務事業名	スポーツ少年団育成事業	所 属 部	教育部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	保健体育課
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興	課 長 名	藤山 光隆
	基本事業名	0 3	スポーツ、芸術文化団体の育成	所 属 G (係)	スポーツ振興 G
				電 話 番 号	42-1117

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	1 0	0 7	0 2	162090	社会体育振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
スポーツを通して青少年の健全育成を図るために結成された単位スポーツ少年団の育成指導及び連絡調整を図ることを目的とする事業 ・スポーツ少年団登録料【登録料】団員：一人当たり(日本スポ少300円・県スポ少300円・市スポ少100円)、単位団：一団体当たり(市スポ少1,000円)、指導者：一人当たり(日本スポ少700円・県スポ少400円・市指導協1,000円)・平成21年度登録受付開始 4月23日～登録締切5月29日まで ・追加登録受付6月1日～追加登録締切7月17日まで ・スポーツ少年団育成費基準【育成費】(団員：一人当たり300円)(単位団：一団体当たり12,000円) ・スポーツ少年団の登録窓口 霧島市教育委員会 保健体育課		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
指導者育成研修会・交歓大会・フェスティバル大会の実施 登録競技種目		ア	指導育成研修会・交歓大会・フェスティバル数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	競技種目数
前年同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市スポーツ少年団員(市内小・中・高校生)		名称	
<補助金交付先>市スポーツ少年団(登録団体)		単位	
<補助対象活動>団体の運営		ア	市内の小・中・高校生の数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	登録団員数
基礎体力が向上する		ウ	単位団数
奉仕活動等へ参加できる		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
スポーツへの関心度が向上する		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
スポーツ活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。		ア	基礎体力が向上した団員数
		イ	奉仕活動をした団員数
		ウ	スポーツへの関心度が高まった割合
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	スポーツ団体・組織の数
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,345	2,115	2,115	1,904	
事業費計(A)		千円	2,345	2,115	2,115	1,904		
活動指標		ア	回	3	4	3	3	
		イ	種目	14	14	14	14	
		ウ						
対象指標		ア	人	21,803	21,559	21,003	21,500	
		イ	人	2,242	2,053	1,936	2,000	
		ウ	団	105	99	98	99	
成果指標		ア	人	未把握	未把握	未把握	1,550	
		イ	人	未把握	179	173	190	
		ウ	%	未把握	未把握	未把握	55	
上位成果指標		ア	団	226	220	213	220	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
きっかけは、スポーツを通じ仲間づくりや青少年期におけるスポーツの楽しさを知る機会を増やすことを目的として開始。スポーツ少年団への補助を開始した時期は昭和40年頃。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
少子化の傾向にあるため、一単位団の団員数が伸び悩んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
競技種目によっては団員の確保が難しく単位団としての活動ができないものがある。	

事務事業名	スポーツ少年団育成事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	スポーツ団体の育成として政策体系に結びついている。また、奉仕活動やスポーツへ関心を持つことで、団体に所属し様々なイベントに参加することで、親睦を図り、仲間を増やすことができるので、意図することが結果に結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	子供の基礎体力の低下やいじめなどが今日の社会問題になっているため、目的である健全な心身の鍛錬のために市が行うべきである。目的達成のために、運動の場や学年別でふれあう為の場を設け、交歓大会やその他スポーツ大会また、指導者研修回等を実施するため、費用が必要になる。
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	スポーツ少年団員を対象としているが、今後は指導者の育成も視野にいれ対象に追加すべきである。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	18・19年度の団員登録実績は、市内の全児童・生徒の約10分の1である。中高生は各学校の部活動に所属するため団員として登録をしない生徒もいるが、団員を増やし成果を向上させる余地はある。水準としては交歓大会や街頭募金などを行っているためあるべき水準と差異はほとんどない。問題としては、少子化により団員が減少するため成果向上が困難である。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	少年期の育成で、体力向上や親睦を図り仲間を増やすことは成長していく中で大切なことである。少年団育成を廃止・休止した場合そのような体力向上や仲間作りの場を少なくしてしまうこととなり、目的である健全な心身の鍛錬の場をなくしてしまうことになる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	青少年サマースポーツフェスタ開催事業と連携を図ることができれば、異年齢間で交流でき、親睦が図られ、仲間作りができるので成果の向上が期待できる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	少年団育成のための補助金であり、削減することで健全育成に要する費用も同時に削減しなければならなくなるため、成果は下がることになる。現時点で削減は困難であるが、合併後の団のあり方や育成方法を考慮することで将来的には削減も可能になるのではと考える。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	日本スポーツ少年団や鹿児島県スポーツ少年団との連携や市内の各施設や各競技団体との連携、大会等の把握など調整事務が多く、委託するより職員が行ったほうが効率が良い。また、合併後の団のあり方や育成方法を考慮することで将来的には業務時間の削減は可能と思われる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	登録料や育成費等、特に事業の内容が一部の受益者に偏っていることもなく、受益者負担は公平・公正であり問題はないものと思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健全な心身の鍛錬のため大切な事業であるが、一部の地域や少子化で団員不足が起きている。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事業のやり方は現状維持でいかなるえないと思われる。但し、燃え尽き症候群とならないよう指導者の意識の向上が必要である。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 少子化や一部の地域で過疎化がすすみ、団員数の不足が懸念されるため、統合やスポーツクラブの活動が必要と思われる。																	

事務事業名	各種スポーツ大会出場者支援事業	所属部	教育部	所属課	保健体育課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 県予選を勝ち抜き、九州大会・全国大会へ出場が決定しているチーム又は、県選抜の一員として九州大会・全国大会へ出場が決定している個人へ補助金を支給する事業であり、より高いレベルの大会へ参加することでレベルアップにつながり、スポーツを通じて選手同士の交流も深まるため結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 本市でスポーツを行なう者のうち九州・全国大会等に出場できるすぐれた選手の育成のため補助金を交付するもので、大会参加者の個人負担の軽減及び競技力向上につながるため市が行う必要がある。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 現在、九州・全国大会へ出場者を対象としており、対象範囲は適切と考える。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 九州・全国大会へ参加する者のうち個人負担が多く参加を断念する者も少なくない。この事業により個人負担が軽減されるため、九州・全国大会の参加者は増えスポーツ技術が向上する。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 現在の補助金で大会参加者の個人負担が軽減されているが、廃止することにより個人負担は増える。努力してつかんだ九州・全国大会へのチャンスを活かすため、参加に係る個人負担を少しでも軽減させることにより無理なく出場することができる。能力・技術共に高いレベルで競うことでよりいっそう高い技術の向上につながると思われるため廃止・休止すべきではない。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 社会体育振興のための補助金であり、他のスポーツ補助金と統廃合・連携できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 本事業に関しては、県予選等を勝ち抜いて九州・全国大会へ出場権を獲得するチーム・個人がほとんどであり、その年で出場者数は異なるため事業費の削減は難しい。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 業務時間の削減等については毎年、九州・全国大会へ出場件数が違うため削減の余地のある・なしはつけられず、また、事務内容が補助金申請等の事務手続きのため委託等はできない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 県予選等を勝ち抜き、九州・全国大会等へ出場する個人・団体であれば誰でも対象となるため公平性は保たれている。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	全国大会や九州大会へ出場は易しいことではなく、またスポーツの振興や競技力の向上に結びつき、霧島市を全国へ広めるためにも役立っている。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 現状維持でよいと思われる。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 全国大会・県大会へ出場はスポーツ関係者のレベルアップに繋がるため、今後も事業を継続していきたい。

No.	1250-150	事務事業名	市少年少女合唱団運営事業			所属部	教育部
						所属課	文化振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり			課長名	川原 和昭
	施策名	03	スポーツ、芸術・文化の振興			所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	03	芸術文化団体の育成			電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	10	06	06	157090	文化振興費	霧島市少年少女合唱団要項

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市少年少女合唱団に運営費の補助として補助金の支出と運営の支援を行っている。合唱団は市内の小学3年生から中学3年生までを対象として団員を募り、原則毎月3回土曜日(午前)を練習日としている。成果の発表として、鹿児島県合唱連盟主催の合唱祭や地区の文化祭等に出演している。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) ・霧島市民音楽の集い(霧島市市制3周年記念事業) ・霧島市市制3周年記念事業記念式典フィナーレ ・まちなか音楽会(霧島商工会主催)		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) ・8月9日(土)山鹿少年少女合唱団との合宿練習(みそめ館、交流センター) ・8月10日(日)山鹿少年少女合唱団との交流演奏会(霧島市民会館)		ア:演奏会の開催 回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ・合唱団員 霧島市内の音楽(合唱)に興味のある小・中学生 【補助金交付先】霧島市少年少女合唱団 【補助対象活動】合唱練習及び演奏会等の出演		イ:練習回数 回	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 児童生徒に文化活動に親しむ機会を与え、心豊かな青少年育成と音楽文化水準の向上を図る		ウ:	
結果(どんな結果に結び付けるのか) スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:児童数 人	
		イ:生徒数 人	
		ウ:	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:活動している団員数 人	
		イ:	
		ウ:	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア:芸術文化団体・組織の数 団体	
		イ:芸術文化団体・組織の会員数 人	
		ウ:	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	162	145	138	124		
	事業費計(A)	千円	162	145	138	124			
活動指標		ア:回	6	6	8	5			
		イ:回	29	30	30	34			
		ウ:							
対象指標		ア:人	8,209	8,125	8,126	8,053			
		イ:人	4,067	4,098	4,010	3,975			
		ウ:							
成果指標		ア:人	50	46	34	40			
		イ:							
		ウ:							
上位成果指標		ア:団体	243	243	244	249			
		イ:人	4,474	4,472	4,180	4,433			
		ウ:							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 児童生徒の健全育成を推進するために、旧国分市を中心に結成された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 文化活動(音楽)に対して興味を持つ児童生徒の減少に伴い、団員が減少してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 公民館教室として、隼人及び横川地区に合唱教室が開設され運営している。今後は、霧島市の合唱団として統合しての運営を検討する必要がある。	

事務事業名	市青少年合唱団運営事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合唱団結成後、12年を経過している。組織体制のあり方や運営内容について検討する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
設置目的を明確にし、自主運営できる組織体制を整備する。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
団員が児童生徒のため、指導者及び保護者による活動の支援が必要であるが、運営体制が確立されていない。

No.	1250-160	事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	溝辺出張所教育振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	福永 久治
	施策名	03	スポーツ、芸術・文化の振興				所属G(係)	教育グループ
	基本事業名	03	スポーツ、芸術・文化団体の育成				電話番号	58-3191
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	社会教育法第5条第1項第12号(青少年への体験活動の実施) 同法第11条第2項(社会教育団体への援助)	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)
 溝辺たかや太鼓保存会の運営費補助として補助金を交付している。
 (市の活動) 当保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。また、運営の指導助言を行っている。
 (保存会の活動) 週1回の練習を行い、演奏技術の向上を図り、市主催行事や民間からの演奏依頼に応えている。最近では、小学生の加入もあり、成人と活動を共にすることにより、社会教育活動の一環として青少年健全育成に努めている。
 溝辺たかや太鼓保存会とは、町興し事業の一環として発足した団体。

事業期間
 単年度のみ
 単年度繰返
 ↳ (S 63 年度 ~)
 期間限定複数年度
 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要とともに、溝辺夏祭りにおける太鼓演奏、溝辺ふるさと祭りにおける太鼓演奏、元旦における太鼓演奏、始良地区おやしサミットにおける太鼓演奏。		ア	補助した団体数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) H20年度と同様。		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) H20年度と同様。		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
溝辺たかや太鼓保存会会員 補助金交付先 > 溝辺たかや太鼓保存会 補助対象活動 > 溝辺たかや太鼓保存会の運営に要する経費		名称	
		ア	補助対象団体数
		イ	補助対象団体の会員数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
溝辺たかや太鼓保存会の円滑な運営と財政の健全化を図る。		名称	
		ア	自主財源率
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。 スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。		名称	
		ア	芸術文化団体・組織の数
		イ	芸術文化団体・組織の会員数
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	180	30	30	30	
		事業費計(A)	千円	180	30	30	30	
活動指標		ア 団体	1	1	1	1		
活動指標		イ 人	15	15	15	15		
活動指標		ウ %	12	55	49	50		
上位成果指標		ア 団体	243	243	244	249		
上位成果指標		イ 人	4,474	4,472	4,180	4,433		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 昭和63年8月、旧溝辺町において町興し事業の一環として発足した。太鼓は、旧溝辺町が備品として購入。打ち子は広く町民に呼びかけ、成人男女約30人が応募した。同時に保存会を立ち上げるとともに、活動運営に係る経費助成を図るため補助金を交付を開始した。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 会員が、当初成人のみであったが、現在は小学生も会員になっている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 活動が知られることにより、出演依頼がある。

事務事業名	溝辺たかや太鼓保存会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	溝辺出張所教育振興課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか? 地域興し、ふるさとづくりに努めている																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? まち興し事業の一環であるため 青少年の健全育成であるため																								
	対象・意図の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 広く市民に参加(会員)を呼びかける																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 保存会会員の加入促進を図る。 H20年度 会 員… 15名(一般 8名, 児童・生徒7名) 練習日… 原則毎週月曜 20:00~22:00 みそめ館ホール舞台で練習 主な出演活動 7月26日:溝辺夏まつりオープニング 11月 2日:霧島市溝辺ふるさと祭り前夜祭での演奏 1月 1日:遙拝式オープニング 2月22日:始良地区おやしサミットでの演奏																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 保存会の運営に係る経費を、全て保存会負担とするには無理がある																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費の適正化を図った																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 保存会の主体的な運営になった。																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 小学生以上なら会員になりたい人は誰でもなれる																								
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		合併前、旧溝辺町の町興し事業として、溝辺町が立ち上げたもので設立後、会員の努力により継続してきた。現在は、成人の会員が減少し、子供たちに頼っている状況であるので、会員増を図るなど努力している。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 改革改善案 > 成人会員の加入促進を図る。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 成人会員の加入促進を図る。 購入後21年が経過し、大太鼓の革の一部が破けるなど老朽化が進み、革の張り替えを要する時期にきている。																										

No.	1250-170	事務事業名	市文化協会運営支援事業				所属部	教育部
							所属課	文化振興課
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり				課長名	川原 和昭
	施策名	0 3	スポーツ、芸術文化の振興				所属G(係)	芸術文化G
	基本事業名	0 3	スポーツ、芸術文化団体の育成				電話番号	42-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	1 0	0 6	0 6	157090	文化振興費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市文化協会に運営費の補助として補助金を支出していると同時に運営の助言を行っている。霧島市文化協会は、市内で文化活動を目的とする各種団体及び同好会が相互の連絡協力を図り研さんを深めるために結成している任意団体。霧島市文化協会の傘下には、旧市町ごとに支部文化協会を置き運営を行っている。 [活動内容]霧島市芸術祭、会報霧島の発行、総会の開催、支部文化協会ごとの活動・研修会・文化祭、チャリティショー(隼人・国分)、支部文化協会たよりの作成		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 文化協会による文化事業の開催数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 文化協会による文化事業への参加団体数(延べ)	団体
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民・文化協会会員 [補助金交付先]霧島市文化協会 [補助対象活動]文化協会の運営に関する経費。文化協会加盟団体相互の連携協調及び文化の高揚を図るための活動。	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	文化協会の活動に関心を持ち文化活動を行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	スポーツ、芸術文化活動を通じ互いに交流することで親睦を図る。スポーツ、芸術文化活動に取り組む仲間が増える。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 文化協会会員数	人
		ウ 文化協会の加盟団体数	団体
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 活動している文化協会の加盟団体数	団体
		イ 文化協会への新規加入団体数	団体
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 芸術文化団体・組織の数	団体
		イ 芸術文化団体・組織の会員数	人
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	432	332	558	490	
		一般財源	千円	1,345	2,690	2,550	2,241	
		事業費計(A)	千円	1,777	3,022	3,108	2,731	
活動指標		ア 回	11	11	10	10		
		イ 団体	274	263	249	250		
		ウ						
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ 人	4,370	4,370	4,085	4,340		
		ウ 団体	240	240	241	243		
成果指標		ア 団体	265	263	249	250		
		イ 団体	0	10	3	5		
		ウ						
上位成果指標		ア 団体	243	243	244	249		
		イ 人	4,474	4,472	4,180	4,433		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市の合併を契機に平成18年5月に霧島市文化協会が設立され、旧文化協会個別に交付していた補助金を一本化したことにより本事業を開始した。なお、旧市町の文化協会は地区文化協会として活動を継続している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地区によっては、会員の減少に伴い活動が停滞している地区もある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市の教育出張所の対応が地区によってばらつきがある。(文化協会役員からの意見)	

事務事業名	市文化協会運営支援事業	所属部	教育部	所属課	文化振興課
-------	-------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 地域に根付いたそれぞれの文化協会独自の活動を展開しているが、各部門ごとの統廃合を進め、活動を活性化させる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 文化協会会員が認識を改め、会員相互の協力により行政に頼らない運営が必要であり、行政側は側面からの支援を行う事により人件費の削減につなげる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 文化祭等、市民を対象に開催されている。また、それぞれの会員が文化協会費を負担している。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併に伴い、新たに霧島市文化協会が設立され活動を展開している。全体的に文化協会会員が高齢化し、若年層の参加が少ないため、活動がマンネリ化している。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改:10 <改革改善案> 文化協会各支部の部門ごとの統合を進め、活動の活性化を図り、多種の文化活動を積極的に展開すべきである。協会員の若返りを図り、新しい感覚での魅力ある文化活動を模索する。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 文化協会活動内容のマンネリ化及び協会員の高齢化が問題である。また、催し物へ参加するだけの会員も多いため、一人一人が文化協会の運営に関わって文化協会の活動を活性化させるため、役員を含め今後のあり方を協議する場を設定する。

No.	1250-180	事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業				所属部	教育費
							所属課	霧島教育振興課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	福森 茂樹
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	教育G
	基本事業名	02	保存団体への支援				電話番号	57-1111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	10	06	06	157090	文化振興費	霧島神楽振興会規則	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
・伝統芸能伝承のための定期練習会の開催 ・観光資源としての神楽公演 ・神楽師が在籍する振興会の運営 【主な活動内容】…天孫降臨霧島祭への参加(例年)、依頼公演、公民館講座の指導、きりしまチャレンジャーでの神楽指導、など		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 10 年度 ~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		S H	
手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		名称	
天孫降臨「霧島祭」出演 霧島チャレンジャー指導 公民館講座「霧島神楽」指導		ア	神楽振興会の公演回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	神楽の練習延べ日数
天孫降臨「霧島祭」出演 霧島チャレンジャー指導 公民館講座「霧島神楽」指導		ウ	
			日
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
観光客・市民・振興会員 【補助金交付先】霧島神楽振興会 【補助対象活動】霧島神楽振興会の運営に関する経費。		名称	
		ア	人口
		イ	神楽振興会会員数
		ウ	
			人
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市の知名度UP ふるさと霧島の再発見 郷土芸能の伝承		名称	
		ア	活動している神楽振興会の会員数(実)
		イ	神楽振興会への新規加入者数(実)
		ウ	
			人
			人
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
伝統文化を継承し広めてもらう。		名称	
		ア	発表を行っている団体数
		イ	郷土芸能に関わる人数(団体登録者)
		ウ	
			団体
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	1,084	116	521	366	
		一般財源	千円	660	530	530	477	
		事業費計(A)	千円	1,744	646	1,051	843	
活動指標		ア	回	11	6	25	24	
		イ	日	21	16	28	28	
		ウ						
対象指標		ア	人	127,615	127,871	128,128	128,383	
		イ	人	42	43	46	46	
		ウ						
成果指標		ア	人	35	36	37	37	
		イ	人	1	1	1	1	
		ウ						
上位成果指標		ア	団体	44	43	44	44	
		イ	人	2,450	2,432	2,644	2,450	
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成8年5月に旧霧島町内の民家で270年前の古文書が発見され、約80年前まで霧島神楽が現存していた記述があり、教育委員会が町民の関心を高めようと波野村の「中江岩戸神楽」を体育祭に招待したのがきっかけで、町民の意識が高まり神楽復活への動きとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
発足当時は数十名いた会員も高齢化や職場の異動(役場職員もかなり居た)により、少しずつ遠退いてゆき、今では30名ほどで活動している。しかし、近年、新規会員の加入もあり、やや活気付いてきていることも事実である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
伝統芸能を保存・伝承してゆかねばならないことは、多くの方々にご理解いただいているが、それらが、会員の増加や予算の確保等に実質結びついていないのが現状である。	

事務事業名	霧島神楽振興会運営支援事業	所属部	教育費	所属課	霧島教育振興課
-------	---------------	-----	-----	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島チャレンジャー(神楽体験)や霧島神楽公民館講座での指導を通じて市民に対する伝統文化を学ぶ環境づくりを形成すると共に神楽伝承団体である神楽振興会への支援を行った。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市が市内各所に存在する伝統芸能の保存や継承をどのような方法(財源支援、人的支援)で行ってゆくかの方針が決定されていないため詳細は不明だが、少なくとも霧島市政策体系に「保存団体への支援」が謳われている以上、財源的でも人的でも税金を投入せざるを得ない事に変わりはない。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	現在行っている活動対象については限定すべきではなくむしろ拡充して行くべきであると考え。また、対象の拡充により意図も拡大されるものと考え。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	伝承活動も10年を経過し、温故知新の精神で新たな神楽師の発掘と、新たな「座」の創設も視野に入れながら新霧島神楽への脱皮も図って行くこととする上では向上の余地はあるものと考えます。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	事務事業を廃止された場合、活動の裏づけとなる財源的なものの確保が困難となり、伝統芸能の保存伝承という政策体系が崩壊する可能性がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	伝統芸能はそれぞれが地域慣習や歴史的行事を引き継いでいるものが多く、連携は出来ても統廃合は困難であろうと考える。当該団体においては市内に類似団体すらく、(統廃合・連携の)可能性は薄い者と考え。
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	本事務事業に限って言うとうとH21予算はH18予算対比47%減であり、このままの推移を維持すると仮定した場合H30予算ではH18予算対比約 80%になります。こうなると政策体系の事務事業に記載のある「伝統文化を学ぶ環境づくり」や「保存団体への支援」をどのような形で継承して行くかを再検討しなくてはならないのではと危惧いたします。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	発足当時の経緯から行政として関わらなければならない状況が続いていますが、ご指摘のとおり各種団体事務の移譲は、今後、充分検討しなければならない事項である事は認識しております。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		芸能伝承事業についての受益者の定義は困難であるが、少なくとも当該団体の構成員でない事は明白であり、あえて言うならば公演時の観客であり、公演の依頼者であると考えます。本来であれば公演時の公演料を定額化するべき所ではありますが、公的な行事等への参加も多く、そこまで踏み込めていないのも実情であります。(公的依頼とその他の依頼との関係でいうと公平であるものと考えます。)

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
<p>目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>・新たなもの(神楽師確保、座創設)への取り組みが不完全</p> <p>・団体運営事務の民間への移譲が不完全(創設時の経緯による)</p>																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
<p><改革改善案></p> <p>新たなものを創設するという構成員の意識を向上させ、現状の打破をする。</p> <p>・公民館講座を通じ、新たな神楽師の募集・育成を行う</p> <p>・新座を構成員全員で創設できるよう研究する。</p> <p>組織運営の移譲</p> <p>・10年経過を機に、年度を区切って事務局の移譲を検討する。</p> <p>・事務局員になるべき構成員を育成する。</p>																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
<p>・新座の創設には相応の経費と時間の増大が見込まれるが、その確保をどうするか?・・・現状の財源では年間活動をしながらの新座創設は困難であるため、半年～1年間の活動を新座創設のみとする必要がある。</p> <p>・新たな神楽師の育成をどうするか?・・・神楽=熟年者というイメージがあるが現代神楽の多くは若年者層が中心となって伝承している所が多く見受けられることから、中学・高校等でのイベントに出演し市内に現存する伝統芸能を少しずつでも若者に興味をもって貰うことも一つの方法だと考える。</p> <p>・組織運営の移譲・・・最大の課題は、事務局員の選任であり出来る限り年度を区切った移譲を行いたい。</p>																											